

Parallels® Server

スタートアップ

Copyright © 1999-2008 by Parallels Software International, Inc. All rights reserved.

Parallels、*Coherence*、*Parallels Transporter*、*Parallels Compressor*、*Parallels Desktop*、および *Parallels Explorer* は、*Parallels Software International, Inc.* の登録商標です。*Parallels* ロゴは *Parallels Software International, Inc.* の商標です。

この製品は、複数の特許出願中の技術に基づいています。

この著作物またはこの著作物の二次著作物のあらゆる形式の頒布は、書面による許可を事前に著作権所有者から取得している場合を除き、禁止されます。

Microsoft、*Windows*、*Windows Server*、*Windows NT*、*Windows Vista*、および *MS-DOS* は、*Microsoft Corporation* の登録商標です。

Linux は *Linus Torvalds* の登録商標です。

Apple、*Bonjour*、*Finder*、*Mac*、*Macintosh*、および *Mac OS* は、*Apple Inc.* の登録商標です。

Solaris は *Sun Microsystems, Inc.* の登録商標です。

eComStation は *Serenity Systems International* の商標です。

FreeBSD は *The FreeBSD Foundation* の登録商標です。

Intel および *Intel Core* は、*Intel Corporation* の商標または登録商標です。

OS/2 Warp は *International Business Machines Corporation* の登録商標です。

VMware は *VMware, Inc.* の登録商標です。

本ガイドに記載したその他のマークおよび名前は、それぞれの所有者の商標である可能性があります。

目次

イントロダクション	4
Parallels Server について	5
Parallels Server コンポーネント	6
仮想マシンの仕様	7
このガイドについて	8
表記規則	9
ヘルプ一覧	10
ご意見の送付先	11
Parallels Server のインストール	12
ホスト コンピュータのシステム要件	12
クライアント コンピュータのシステム要件	14
Mac へのインストール	15
ベアメタル コンピュータへのインストール	17
Windows へのインストール	18
Linux へのインストール	20
サポートされるゲスト オペレーティング システム	22
Parallels Management Console の起動	23
インターフェイスの基礎	24
Parallels Server への接続	28
Parallels Server のアクティベート	31
標準的な仮想マシンの作成	33
Parallels Tools のインストール	36
仮想マシンの操作	38
仮想マシン構成の編集	41

第 1 章

イントロダクション

Parallels Server は、プライマリ オペレーティング システムとして Mac OS® X、Windows®, または Linux® がインストールされている仮想マシン、またはプライマリ オペレーティング システムがインストールされていない仮想マシンを、Intel® VT-x および AMD-V™ のハードウェア仮想化サポートを使用するコンピュータ上で作成できる、クロスプラットフォームのソフトウェアです。

Parallels Server を使用すると、プライマリ オペレーティング システムが異なるコンピュータも含めて、ネットワーク上の他のコンピュータから仮想マシンにアクセスできるようになります。

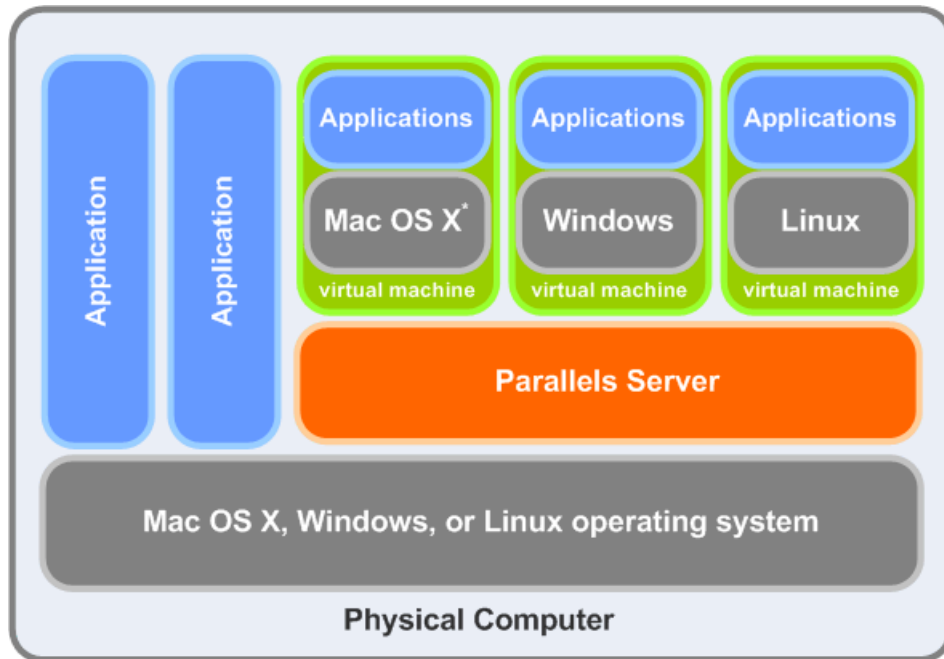
この章の構成

Parallels Server について.....	5
Parallels Server コンポーネント.....	6
仮想マシンの仕様.....	7
このガイドについて.....	8
ヘルプ一覧.....	10
ご意見の送付先.....	11

Parallels Server について

Parallels Server は、物理コンピュータのハードウェア リソースを、そのコンピュータ上で作成された複数の仮想マシン間で共有することによって効率的に使用する、クロスプラットフォームのソフトウェアです。Parallels Server は、システム要件を満たす、Intel VT-x および AMD-V ベースの Mac、PC、およびベアメタル コンピュータにインストールできます。

Parallels Server を使用すると、プライマリ OS として Mac OS X、Windows、または Linux がインストールされたマシン上に仮想マシンを作成し、それをネットワーク上の他のコンピュータからアクセス可能にできます。Parallels Server パッケージに含まれる Parallels Management Console を使用すると、仮想マシンをローカルとリモートの両方で管理できます。Parallels Server を物理サーバーにインストールすると、同じコンピュータまたはネットワーク上の他のコンピュータにインストールされた Parallels Management Console、Parallels Command Line Tool などのクライアント アプリケーションを使用して、仮想マシンを作成、実行、および構成することができます。また、Parallels Server と共にインストールされる Parallels SDK パッケージを使用して、独自のアプリケーションを作成することもできます。



* You can install Mac OS X Server v10.5 on top of Mac OS X operating systems only.

Parallels Server を使用することで、次のことができます。

- 1 台の物理コンピュータ上に、さまざまなオペレーティング システムの仮想マシンを複数作成できます。
- 同じコンピュータのデスクトップ上で複数のオペレーティング システムを同時に動作させることができます。
- 物理サーバーのリソースを効率よく使用できます。
- 複数の仮想マシンに展開できる仮想マシン テンプレートを作成することにより、仮想マシンの提供を簡略化できます。
- Parallels Server とその仮想マシンの管理にさまざまなツールを使用できます。
- Parallels Management Console を使用して、複数のサーバーを一度に管理できます。
- 仮想マシンのグラフィック コンソールにリモートでアクセスできます。

Parallels Server コンポーネント

Parallels Server は、3 つの主要なコンポーネントで構成されています。これらは完全にクロスプラットフォームであり、Mac OS、Windows、または Linux オペレーティング システムの任意のコンピュータにインストールできます。

- **Parallels Server:** Parallels 仮想マシンを作成および実行できるサーバー アプリケーションです。
- **Parallels Management Console:** Parallels Server とその仮想マシンの管理に使用されるクライアント アプリケーションです。
- **Parallels Server SDK:** Parallels Server とその仮想マシンを、クライアント アプリケーションを使用せずに管理できるようにするソフトウェア開発キット (SDK) です。

Parallels Server には、仮想マシンの操作に役立つ複数のユーティリティも含まれています。

- **Parallels Command Line Tool:** Parallels Server とその仮想マシンをコンピュータのコマンド ラインから直接管理できるようにするユーティリティです。
- **Parallels Transporter:** 物理コンピュータおよび物理ディスクを Parallels Server 仮想マシンに移行できるようにするアプリケーションです。
- **Parallels Server Image Tool:** Parallels 仮想マシンによって使用されるハード ディスクのフォーマットおよびプロパティを変更できるようにするユーティリティです。

注意: このバージョンでは、Image Tool ユーティリティは、Mac OS X をインストールしたコンピュータでのみ利用できます。このユーティリティは、Parallels Server と一緒にインストールされます。

- **Parallels Server Explorer:** Parallels 仮想マシンとそのハード ディスクの内容を、それらを起動しなくても表示したり管理したりできるようにするユーティリティです。

注意: このバージョンでは、Explorer ユーティリティは、Mac OS X をインストールしたコンピュータでのみ利用できます。このユーティリティは、Parallels Server と一緒にインストールされます。

- **Parallels Server Mounter:** Parallels 仮想ハード ディスクを Mac OS Finder にマウントできるようにするためのユーティリティです。

注意: このバージョンでは、Mounter ユーティリティは、Mac OS X をインストールしたコンピュータでのみ利用できます。このユーティリティは、Parallels Server と一緒にインストールされます。

- **Parallels Compressor:** Parallels 仮想マシンによって使用される仮想ハード ディスクのサイズを削減できるユーティリティです。

注意: Compressor ユーティリティは、Windows ゲスト オペレーティング システムを備えた仮想マシンからのみ利用できます。

仮想マシンの仕様

仮想マシンは、1 つまたは複数のプロセッサ、最大 8 GB の RAM、ハード ディスク、CD/DVD ドライブ、フロッピー ディスク ドライブ、ネットワーク アダプタ、ビデオ アダプタ、シリアル ポート、パラレル ポート、サウンド カードなどのデバイスを搭載した物理コンピュータと同じように動作します。

物理コンピュータの場合とまったく同様に、仮想マシンにオペレーティング システムやアプリケーションをインストールできます。

Parallels 仮想マシンは、次のハードウェアを持つスタンドアロン コンピュータとして動作します。

CPU	最大 4 コアの Intel/AMD CPU (レガシー OS への互換用として Intel Celeron または AMD Duron)
マザーボード	Intel i965 チップセットを搭載するマザーボード
RAM	最大 8 GB の RAM
ビデオ アダプタ	VESA 3.0 互換の VGA および SVGA のビデオ アダプタ
ビデオ RAM	最大 32 MB のビデオ RAM
フロッピー ディスク ドライブ	イメージ ファイルまたは物理フロッピー ドライブに割り当てられた 1.44 MB フロッピー ディスク ドライブ

IDE デバイス	最大 4 台の IDE デバイス
<ul style="list-style-type: none"> ▪ ハード ディスク ▪ CD/DVD-ROM ドライブ 	<p>イメージ ファイル (最大各 2 TB) に割り当てられたハード ディスク ドライブ</p> <p>物理ドライブまたはイメージ ファイルに割り当てられた CD/DVD-ROM ドライブ</p>
SCSI デバイス	最大 7 台の SCSI デバイス
<ul style="list-style-type: none"> ▪ ハード ディスク ▪ 汎用 SCSI デバイス 	<p>イメージ ファイル (最大各 2 TB) に割り当てられたハード ディスク ドライブ</p> <p>汎用 SCSI デバイス</p>
ネットワーク インターフェイス	最大 10 のネットワーク インターフェイス: RTL8029 互換のイーサネット仮想ネットワーク カードを含む
シリアル (COM) ポート	最大 4 つのシリアル (COM) ポート (ソケットまたは出力ファイルに割り当て)
パラレル (LPT) ポート	最大 3 つのパラレル (LPT) ポート (出力ファイルまたはプリンタ ポートに割り当て)
サウンド カード	AC'97 互換のサウンド カード、録音をサポート
キーボード	汎用 PC キーボード
マウス	PS/2 ホイール マウス

このガイドについて

このガイドでは、Parallels Server のインストール方法、標準的な仮想マシンの作成方法および構成方法の基礎について説明します。

Parallels Server および仮想マシンの使用方法の詳細については、Parallels Server ドキュメント 『p. 10』を参照してください。

表記規則

当ガイドをご使用いただく前に、文書内の表記上の規則をご理解くださいますようお願い致します。当ガイドで使用されている特別な用語については、巻末の用語集をご参照ください。

以下の表は現在のフォント規則です。

表記	意味	例
黒い三角形 (▶)	順を追った手順。記載の指示に従うと、特定のタスクを完了できます	コンテナを作成するには以下を実行してください。
特殊太字	メニュー オプション、コマンドボタン、リスト内の項目など、ユーザが選択する必要のある項目。	[リソース] タブを開きます。
斜体	章、セクション、サブセクションのタイトル。	「基本管理」 の章をご覧ください。
固定幅フォント	初出用語または実際の名前や値に置き換えられるコマンドラインのプレースホルダーの指定など、重要な箇所を強調するために使用されます。	これが <i>EZ</i> テンプレート と呼ばれているものです。 コンテナを破棄するには、 <code>vzctl destroy ctid</code> と入力してください。
書式設定済みフォント	コマンド、ファイル、ディレクトリの名前。	コンテナを開始するには <code>vzctl start</code> を使用します。
固定幅太字	ユーザコマンドラインセッションでの画面上のコンピュータ出力、すなわち、XML や C++ やその他のプログラミング言語。	<code>Saved parameters for Container 101</code>
アルファベット大文字	入力した文字をコンピュータ画面上の出力と区別	<code># rpm -V virtuozzo-release</code>
KEY+KEY	キーボード上のキーの名前。	SHIFT、CTRL、ALT
	ユーザがあるキーを押しながら他のキーを押す必要がある組み合わせ。	CTRL+P、ALT+F4

フォント規則以外に、Parallels 資料に適用されている文書の構成規則についてもご承知おきください。すべてのガイドの章はセクションに分かれており、それがさらにサブセクションに分かれています。例えば「**当ガイドについて**」はセクションであり、「**表記規則**」はサブセクションです。

ヘルプ一覧

Parallels Server では、必要な情報にアクセスする方法がいくつか用意されています。

Parallels Server ヘルプ

製品に組み込まれている Parallels Server ヘルプは、Parallels Management Console の [ヘルプ] メニューからアクセスできます。

Parallels Server ヘルプを開くには

- [ヘルプ] メニューの [Parallels Management Console のヘルプ] を選択します。
- 現在開いているアシスタントまたはウィンドウに関するヘルプ ページを表示するには、キーボードの F1 キーを押します。

Parallels Server の PDF ドキュメント

Parallels Server には、多数の PDF 形式のガイドが、オンラインで、または Parallels Server と共にインストールされるリソースとして用意されています。

- 『Parallels Server スタートアップ』。このガイドでは、インストール方法や使用方法などの Parallels Server の基本的な情報を説明しています。
- 『Parallels Server 管理ガイド』。このドキュメントでは、Parallels Server とその仮想マシンの管理について詳しく説明しています。
- 『Parallels 仮想マシン ガイド』。このガイドでは、Parallels Server で使用される仮想マシンについて説明しています。
- 『Parallels Server Transporter ガイド』。このガイドでは、Parallels Server Transporter について詳しく説明しています。
- 『Parallels Server Explorer ユーザー ガイド』。このガイドでは、Parallels Server Explorer ユーティリティの使用方法について説明しています。
- 『Parallels Server Image Tool ユーザー ガイド』。このガイドでは、Parallels Server Image Tool ユーティリティの使用方法について説明しています。
- 『Parallels Server Reference Guide』。このガイドでは、Parallels Command Line Tool の使用方法について説明しています。
- 『Parallels Server Programmer's Guide』。このガイドでは、Parallels Server SDK パッケージの使用方法について説明しています。
- 『Parallels Server Installation Guide for Bare Metal Computers』。このガイドでは、Parallels Server コンポーネントのベアメタル コンピュータへのインストール方法について説明しています。
- 『Parallels Server インストレーション ガイド (Mac 版)』。このガイドでは、Parallels Server コンポーネントの Mac へのインストール方法について説明しています。
- 『Parallels Server Installation Guide for Windows』。このガイドでは、Parallels Server コンポーネントの Windows へのインストール方法について説明しています。

- 『Parallels Server Installation Guide for Linux』。このガイドでは、Parallels Server コンポーネントの Linux へのインストール方法について説明しています。

これらすべての PDF ドキュメントは、Parallels Server ドキュメントのページ <http://www.runexy.co.jp/software/parallels-server/documents/> にオンラインで用意されています。

Parallels Server と共にインストールされる PDF ドキュメントは、次のフォルダにあります。

- Mac OS X の場合: /Applications/Parallels/Parallels Management Console.app/Contents/Resources/English.lproj
- 32 ビット Windows の場合: C:\Program Files\Parallels\Parallels Server\Documentation\
- 64 ビット Windows の場合: C:\Program Files (x86)\Parallels\Parallels Server\Documentation\
- Linux の場合: /usr/share/parallels-server/docs/

Parallels Web サイト

Parallels サポート ページ <http://www.parallels.com/support/> には、ヘルプ ファイル、FAQ、およびサポート技術情報 (Knowledge Base) が用意されています。

ご意見の送付先

当ガイドの表記ミスを見つけた場合や、当ガイドをより良いものにするアイデアがある方は、弊社までご連絡いただければ幸いです。

コメントの送信には、Parallels フォーラム『<http://forum.swsoft.com/forumdisplay.php?s=&forumid=239>』をご利用いただけます。

メールによるコメントの送信は、sales@parallels.co.jp までお願い致します。コメント送信の際には、章、セクション、サブセクション名や該当部分の文章を提示して問題を特定しやすいようにしていただきますようお願い致します。

第 2 章

Parallels Server のインストール

Parallels Server は、クロスプラットフォームの仮想化ソフトウェアです。Mac OS X、Windows、または Linux がインストールされているか、プライマリ オペレーティングシステムがインストールされていない、Intel VT-x または AMD-V ハードウェア仮想化に対応するほとんどの Intel ベースのコンピュータにインストールできます。

この章の構成

ホスト コンピュータのシステム要件.....	12
クライアント コンピュータのシステム要件.....	14
Mac へのインストール.....	15
ベアメタル コンピュータへのインストール.....	17
Windows へのインストール.....	18
Linux へのインストール.....	20

ホスト コンピュータのシステム要件

Parallels Server は、以下のハードウェア構成のコンピュータにインストールできます。

- 1.5 GHz 以上の x86 (32 ビット) または x64 (64 ビット) CPU (Intel VT-x または AMD-V ハードウェア仮想化テクノロジー サポートあり)。
- 最小 2 GB RAM。4 GB RAM 以上をお勧めします。
- Parallels Server コンポーネントをインストールするために 200 MB のハード ディスク空き領域が必要です。

注意: Mac コンピュータの場合は、300 MB の空き領域が必要です。

- 各仮想マシンに約 30 GB のハード ディスク領域。
- CD-ROM ドライブまたは DVD-ROM ドライブ (オプション)。
- イーサネット ネットワーク アダプタ。

ハードウェア要件に適合するコンピュータは、ベアメタルであるか、次のいずれかのオペレーティング システムがインストールされている必要があります。

- Mac OS® X Server v10.5.2 Leopard 以降
- Mac OS X Server v10.4.11 Tiger 以降
- Mac OS X v10.5.2 Leopard 以降
- Mac OS X v10.4.11 Tiger 以降
- Windows Server® 2003 Standard Edition SP2、R2 (x32、x64)
- Windows Server 2003 Enterprise Edition SP2、R2 (x32、x64)
- Windows Vista® Ultimate (x32、x64)
- Windows XP Professional Edition SP2 (x32、x64)
- Red Hat® Enterprise Linux WS4 (x32、x64)
- Red Hat Enterprise Linux AS4 (x32、x64)
- Red Hat Enterprise Linux ES4 (x32、x64)
- Red Hat Enterprise Linux 5 (x32、x64)
- CentOS 4.x (x32、x64)
- CentOS 5.0 (x32、x64)
- CentOS 5.1 (x32、x64)
- Ubuntu Server 7.10 (x32、x64)
- SUSE® Linux Enterprise Server 10 SP1 (x32、x64)

Parallels Server のシステム要件の詳細については、Parallels Server インストール メディアに収録されているインストレーション ガイドを参照してください。

クライアント コンピュータの システム要件

Parallels Management Console は、以下のハードウェア構成のコンピュータにインストールできます。

- Intel プロセッサ (Core™ Duo または Core™ Solo) を搭載した Mac、あるいは Intel 互換の 700 MHz 以上の x86 (32 ビット) または x64 (64 ビット) プロセッサを搭載した PC。
- 1 GB RAM をお勧めします。
- Parallels Management Console をインストールするために 100 MB のハード ディスク空き領域。
- CD-ROM ドライブまたは DVD-ROM ドライブ (オプション)。
- イーサネットまたは WiFi ネットワーク アダプタ。

ハードウェア要件に適合するコンピュータには、次のいずれかのオペレーティング システムがインストールされている必要があります。

- Mac OS X v10.5.2 Leopard 以降
- Mac OS X v10.4.11 Tiger 以降
- Windows Server® 2003 Standard Edition SP2、R2 (x32、x64)
- Windows Server 2003 Enterprise Edition SP2、R2 (x32、x64)
- Windows 2003 Home Server (x32、x64)
- Windows XP Professional Edition SP2 (x32、x64)
- Windows Vista Ultimate (x32、x64)
- Red Hat® Enterprise Linux WS4 (x32、x64)
- Red Hat Enterprise Linux AS4 (x32、x64)
- Red Hat Enterprise Linux ES4 (x32、x64)
- Red Hat Enterprise Linux 5 (x32、x64)
- CentOS 5.1 (x32、x64)
- Ubuntu Server 7.10 (x32、x64)
- SUSE® Linux Enterprise Server 10 SP1 (x32、x64)

Parallels Management Console のシステム要件の詳細については、Parallels Server インストール メディアに収録されているインストール ショートカット ガイドを参照してください。

Mac へのインストール

Parallels Server は、ディスクまたはダウンロードからインストールできます。インストールは簡単で、数分程度で完了します。

重要: Parallels Desktop 3.0 をインストールしている場合は、Parallels Server をインストールする前に削除する必要があります。Parallels Server は、Parallels Desktop 3.0 をインストールしたコンピュータでは使用できません。ただし、この制限は、Parallels Management Console および Parallels SDK には適用されません。これらのコンポーネントは、Parallels Desktop 3.0 と共にインストールおよび使用できます。

Parallels Server をインストールするには

- 1 Parallels Server インストール ソースを探して開きます。
- 2 **[Install Parallels Server]** をダブルクリックして Parallels Server のインストールを開始します。
- 3 **[ようこそ]** ウィンドウで、**[続ける]** をクリックします。
- 4 **[大切な情報]** ウィンドウで、Parallels Server の最新情報を読み、**[続ける]** をクリックします。
- 5 **[使用許諾契約]** ウィンドウで、契約書をよく読み、**[続ける]** をクリックします。控え用に使用許諾契約書を印刷する場合は、**[プリント]** ボタンを使用します。保存した後で参照できるようにするには、**[保存]** ボタンをクリックします。

ポップアップ ダイアログで、使用許諾契約の条件に同意する場合は、**[同意する]** をクリックします。

注意: インストールを続行するには、ソフトウェア使用許諾契約書の条件に同意する必要があります。

- 6 **[インストール先の選択]** ウィンドウで、Parallels Server コンポーネントをインストールするボリュームを選択し、**[続ける]** をクリックします。

注意: Parallels Server は、ブート ボリュームにのみインストールできます。他のボリュームを選択することはできません。

- 7 **["(デバイス名)" に標準インストール]** ウィンドウで、**[インストール]** をクリックして、Parallels Server の基本インストールを実行します。Parallels Server、Parallels Management Console、Parallels Transporter、Parallels Explorer、Parallels Image Tool の各コンポーネントがインストールされます。Parallels Server コンポーネントのデフォルトのインストール パスは /Applications/Parallels/ です。

インストールの進行状況は、**[Parallels Server のインストール]** ウィンドウで確認できます。

- 8 **[インストールが正常に完了しました]** ウィンドウで、**[再起動]** をクリックして Mac を再起動し、インストールを終了します。

インストールされた Parallels Server は、自動的に起動され、バックグラウンドで実行されます。

Parallels では、Parallels Server とその仮想マシンを管理する方法をいくつか用意しています。

- 同じコンピュータまたはリモート コンピュータにインストールされた Parallels Management Console を使用する。
- 同じコンピュータにインストールされた Parallels Command Line Tool を使用する。
- Parallels Server SDK を使用して作成した独自のクライアント アプリケーションを使用する。

重要: Parallels Server のインストール中に、カーネル モジュールがインストールされます。これらのモジュールは、仮想マシンの実行に不可欠です。Parallels Server と共にインストールされるカーネル モジュールのセットは、Mac OS X システム カーネルによって異なります。Mac カーネルをアップグレードした場合は、製品の適切な機能を維持するために Parallels Server を再インストールする必要があります。

インストール手順の詳細については、インストール ディスクに収録されている『*Parallels Server インストレーション ガイド (Mac 版)*』を参照してください。

ベアメタル コンピュータへの インストール

Parallels Server のベアメタル コンピュータへのインストール手順は、GNU/Linux オペレーティング システムの場合と似ています。

Parallels Server をインストールする前に、インストール メディアが手元にあることを確認します。

Parallels Server のインストール

- 1 コンピュータの電源をオンにし、光学式ドライブに Parallels Server インストール ディスクを挿入します。
- 2 グラフィック モードで Parallels Server をインストールするには、**[Welcome]** 画面で、Enter キーを押します。インストーラがインストール ディスクをチェックするまで少し時間がかかることがあります。
- 3 「License Agreement」をよく読み、条件に同意する場合は **[Next]** をクリックします。
- 4 **[Automatic Partitioning]** 画面で、**[Next]** をクリックして、すべての Linux パーティションを削除し、Parallels Server をインストールするための新しいパーティションを作成します。**[Advanced Settings]** をクリックし、**[Review and Modify Partitioning layout]** を選択して、パーティション設定をカスタマイズします。
- 5 **[Networking]** 画面で、**[Next]** をクリックします。ネットワーク デバイスを構成する必要がある場合は、**[Advanced Settings]** オプションを使用します。
- 6 適切なタイム ゾーンを選択し、**[Next]** をクリックします。
- 7 新しいユーザーを作成し、パスワードを指定します。準備が完了した後、**[Next]** をクリックします。

注意: 新しいユーザーは、sudo ユーティリティを通じて Parallels Server システムのスーパー ユーザー権限を取得します。一方、root ユーザーは sudo ユーティリティにアクセスできません。

インストーラは、インストール用に選択されたコンポーネントの依存関係を確認します。

- 8 インストール プロセスを開始するには、**[Install]** をクリックします。
- 9 インストールが完了すると、コンピュータが再起動されます。

Parallels Server は、インストールされると、コンピュータの電源投入時に自動的に起動されます。

ベアメタル コンピュータにインストールされた Parallels Server には、管理用のグラフィック インターフェイスはありません。このようなコンピュータにインストールされた Parallels Server を管理するには、リモート コンピュータにインストールされた Parallels Management Console を使用します。また、Parallels Server SDK を使用して、Parallels Server とその仮想マシンを管理するための独自のクライアントを作成することもできます。

インストール手順の詳細については、インストール ディスクに収録されている『*Parallels Server Installation Guide for Bare-Metal Computers*』を参照してください。

Windows へのインストール

Parallels Server は、ディスクまたはダウンロードからインストールできます。インストールは簡単で、数分程度で完了します。

重要: Parallels Workstation 2.2 をインストールしている場合は、Parallels Server をインストールする前に削除する必要があります。Parallels Server は、Parallels Workstation 2.2 をインストールしたコンピュータでは使用できません。ただし、この制限は、Parallels Management Console および Parallels SDK には適用されません。これらのコンポーネントは、Parallels Workstation 2.2 と共にインストールおよび使用できます。

Parallels Server をインストールするには

- 1 Parallels Server パッケージを探し、**Parallels Server** 実行可能ファイルをダブルクリックして **[Install Parallels Server]** ウィザードを起動します。
- 2 **[Welcome]** ウィンドウで、**[Next]** をクリックします。
- 3 **[License Agreement]** ウィンドウで「Software End User License Agreement for Parallels Server」をよく読みます。使用許諾契約書の条件に同意する場合は、**[I accept the terms of the license agreement]** を選択し、**[Next]** をクリックします。控え用に使用許諾契約書を印刷する場合は、**[Print]** をクリックします。

注意: インストールを続行するには、ソフトウェア使用許諾契約書に同意する必要があります。

- 4 **[Choose Destination Location]** ウィンドウで、Parallels Server のインストール先フォルダを指定し、**[Next]** をクリックします。デフォルトで、Parallels Server は次の場所にインストールされます。
 - 32 ビット Windows の場合: C:\Program Files\Parallels\Parallels Server\
 - Server\

- 64 ビット Windows の場合 : C:\Program Files (x86)\Parallels\Parallels Server\
 - 5 **[Select Program Folder]** ウィンドウで、**[スタート]** メニューに表示されるプログラムフォルダの名前を指定し、**[Next]** をクリックします。
 - 6 **[Select Shortcuts]** ウィンドウで、作成する Parallels Server コンポーネントへのショートカットを指定します。

注意: ショートカットを利用できるのは Parallels Management Console だけです。

- 7 **[Select Program Folder]** ウィンドウで、Parallels Server 用に別のフォルダを指定できます。**[Next]** をクリックします。
- 8 **[Select Shortcuts]** ウィンドウで、Parallels Server ショートカットの配置先を指定し、**[Next]** をクリックします。
- 9 **[Ready to Install the Program]** ウィンドウで、**[Install]** をクリックして、Parallels Server のインストールを開始します。
- 10 インストールの進行状況は、**[Setup Status]** ウィンドウで確認できます。
- 11 Parallels Server ReadMe ファイルを表示するには、**[Installation Complete]** ウィンドウで **[I want to view the Readme file]** オプションを選択します。ウィザードを終了するには、**[Finish]** をクリックします。

インストールされた Parallels Server は、自動的に起動され、バックグラウンドで実行されます。

Parallels では、Parallels Server とその仮想マシンを管理する方法をいくつか用意しています。

- 同じコンピュータまたはリモート コンピュータにインストールされた Parallels Management Console を使用する。
- 同じコンピュータにインストールされた Parallels Command Line Tool を使用する。
- Parallels Server SDK を使用して作成した独自のクライアント アプリケーションを使用する。

重要: Parallels Server のインストール中に、カーネル モジュールがインストールされます。これらのモジュールは、仮想マシンの実行に不可欠です。Parallels Server と共にインストールされるカーネル モジュールのセットは、Windows OS システム カーネルによって異なります。Windows カーネルをアップグレードした場合は、製品の適切な機能を維持するために Parallels Server を再インストールする必要があります。

インストール手順の詳細については、インストール ディスクに収録されている『*Parallels Server Installation Guide for Windows*』を参照してください。

Linux へのインストール

Parallels Server は、ディスクまたはダウンロードからインストールできます。インストールは簡単で、数分程度で完了します。

注意: GNU/Linux オペレーティング システム上に Parallels Server をインストールするには、root 権限を持つユーザーとしてログインする必要があります。

Parallels Server をインストールする前に、インストール メディアが手元にあることを確認します。

重要: Parallels Workstation 2.2 をインストールしている場合は、Parallels Server をインストールする前に削除する必要があります。Parallels Server は、Parallels Workstation 2.2 をインストールしたコンピュータでは使用できません。ただし、この制限は、Parallels Management Console および Parallels SDK には適用されません。これらのコンポーネントは、Parallels Workstation 2.2 と共にインストールおよび使用できます。

Parallels Server をインストールするには

- 1 Parallels Server インストール パッケージを探し、Parallels Server RUN ファイルを実行して、Parallels Server Installation を起動します。このファイルをターミナルで開くこともできます。
- 2 Parallels Server インストール画面で、[Next] を選択し、Enter キーを押して、先に進みます。
- 3 「Software License Agreement」をよく読みます。記載されている条件に同意する場合は、「Accept」と選択し、Enter キーを押します。同意しない場合は、[Decline] を選択します。

注意: インストールを続行するには、ソフトウェア使用許諾契約書に同意する必要があります。

- 4 Parallels Server がインストールされたら、Parallels Server の使用に役立つヒントをお読みください。インストールを終了するには、Enter キーを押します。

Parallels Server をインストールした場合、それを手動で開始する必要はありません。これは自動的に開始され、バックグラウンドで実行されています。

Parallels では、Parallels Server とその仮想マシンを管理する方法をいくつか用意しています。

- 同じコンピュータまたはリモート コンピュータにインストールされた Parallels Management Console を使用する。Parallels Management Console を起動するには、ターミナルを開始して「pmc」と入力します。
- 同じコンピュータにインストールされた Parallels Command Line Tool を使用する。
- Parallels Server SDK を使用して作成した独自のクライアント アプリケーションを使用する。

重要: Parallels Server のインストール中に、カーネル モジュールがインストールされます。これらのモジュールは、仮想マシンの実行に不可欠です。Parallels Server と共にインストールされるカーネル モジュールのセットは、Linux OS システム カーネルによって異なります。Linux OS カーネルをアップグレードした場合は、製品の適切な機能を維持するために Parallels Server を再インストールする必要があります。

インストール手順の詳細については、インストール ディスクに収録されている『*Parallels Server Installation Guide for Linux*』を参照してください。

第 3 章

サポートされるゲスト オペレーティング システム

Parallels Server では、次のゲスト オペレーティング システムをサポートします。

Windows

- Windows 2000 (x32)
- Windows Server® 2003 (x32、x64)
- Windows XP® (x32、x64)
- Windows Vista® (x32、x64)
- Windows Server 2008 (x32、x64)

Linux

- Red Hat® Enterprise Linux 5 (x32、x64)
- Red Hat Enterprise Linux 4 (x32、x64)
- Red Hat Enterprise Linux 3 (x32、x64)
- SUSE® Linux Enterprise Server 10 (x32、x64)
- SUSE Linux Enterprise Server 9 (x32、x64)
- Debian GNU/Linux 4.0 (x32、x64)
- Debian GNU/Linux 3.1 (x32、x64)

BSD

- FreeBSD 7 (x32、x64)
- FreeBSD 6 (x32、x64)

Mac OS X

- Mac OS X Server v10.5 Leopard

注意: Mac OS X ゲスト オペレーティング システムは、Mac OS X ホスト コンピュータ上の仮想マシンにのみインストールできます。

第 4 章

Parallels Management Console の起動

Parallels Management Console は、Parallels Server のクライアント アプリケーションの 1 つで、Parallels Server とその仮想マシンの管理に使用します。Parallels Management Console では、一度に複数のサーバーを管理したり、そこに格納されている仮想マシンを管理したりできます。

Parallels Management Console を起動するには

- Mac OS X の場合は、/Applications/Parallels フォルダを開き、**Parallels Management Console** アプリケーションを起動します。
- Windows の場合は、[スタート] メニューの [すべてのプログラム] > [Parallels] > [Parallels Server] > [Parallels Management Console] を選択します。
- Linux の場合は、ターミナルを開始し、次のコマンドを入力します。

```
pmc
```

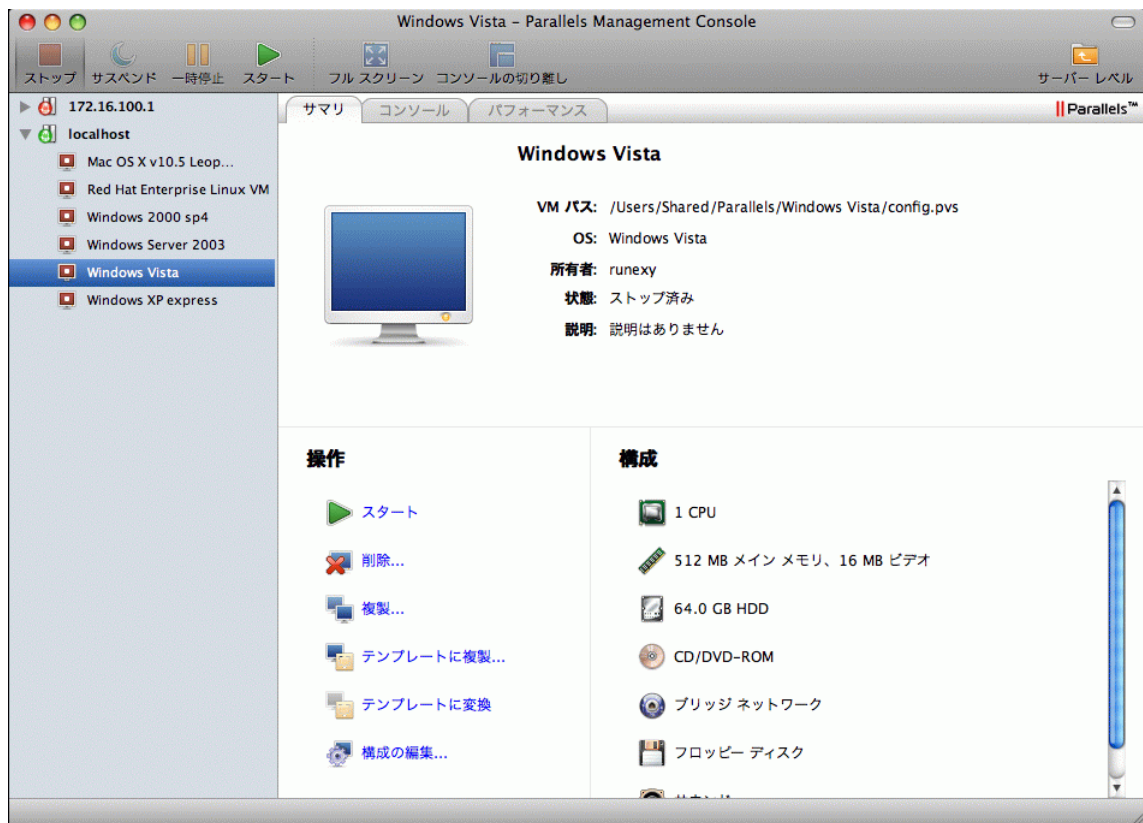
この章の構成

インターフェイスの基礎..... 24

インターフェイスの基礎

Parallels Management Console のメイン ウィンドウには、接続されているサーバーとその仮想マシンに関する一般的な情報が表示されます。

メイン ウィンドウは、ツールバー、サイドバー、サマリ ペイン、およびステータス バーで構成されています。




ツールバー


Parallels Management Console のツールバーには、仮想マシンのスタートとストップ、仮想マシンとそのウィンドウの外観の管理など、頻繁に使用されるコマンドのボタンが用意されています。





デフォルトのツールバー ボタンは次のとおりです。





-  **[ストップ]** ボタン: このボタンは、仮想マシンの異常動作によりシャットダウンできなくなった場合に仮想マシンをストップするために使用します。

注意: 仮想マシンの実行中にこのボタンをクリックすると、保存されていないデータがすべて失われることがあります。仮想マシンの電源を切るには、仮想マシンにインストールされているゲスト OS の指定のシャットダウン手順に従います。また、ツールバーに **[シャットダウン]** ボタンを追加することもできます。

-  **[サスペンド]** ボタン: このボタンは、仮想マシンを所定の期間だけスリープモードにするために使用します。ホスト コンピュータを再起動する必要が生じた場合は、仮想マシンを一時的にサスペンドすると、再起動後に仮想マシンを簡単にレジュームできます。

-  **[一時停止]** ボタン: このボタンは、仮想マシンを一時停止するために使用します。このボタンは、この仮想マシンで使用されたホスト OS のリソースを、このホスト コンピュータ上で実行する別の仮想マシンやアプリケーションにすぐに解放する必要がある場合に使用します。仮想マシンをレジュームするには、**[続行]** ボタン  をクリックします。

注意: 一時停止された仮想マシンをストップすると、その仮想マシンで、一時停止された時点から作業を続行することはできません。仮想マシンをストップしてすべてのデータをそのマシンに保存するには、仮想マシンをサスペンドする必要があります。このためには、**[サスペンド]** ボタンを使用します。

-  **[スタート]** ボタン: このボタンは、ストップ、一時停止、またはサスペンドされている仮想マシンをスタートする場合に使用します。
-  **[フル スクリーン]** ボタン: このボタンは、仮想マシンをフル スクリーンモードに切り替える場合に使用します。 ウィンドウ モードに戻るには、Alt+Enter キーを押します。 フル スクリーンモードに切り替えたり元に戻したりするためのキーの組み合わせは、**[Management Console]** メニューからアクセスできる **[環境設定]** ダイアログ ボックスで変更できます。
-  **[コンソールの切り離し]/[コンソールの接続]** ボタン: このボタンは、仮想マシンのコンソールを切り離して新しいウィンドウにする場合、またはメイン ウィンドウに接続する場合に使用します。 このボタンは、現在実行中の仮想マシンを別ウィンドウに表示する場合にも使用します。
-  **[サーバー レベル]** ボタン: このボタンは、仮想マシンのサマリ ペインから、この仮想マシンが属するサーバーのサマリ ペインに直ちに切り替える場合に使用します。

ツールバーには、他のボタンも簡単に追加できます。 ツールバーを右クリックし、ショートカット メニューの **[ツールバーのカスタマイズ]** を選択し、必要なアイテムをツールバーにドラッグします。

サイドバー

サイドバーには、仮想マシンが格納されている登録済みサーバーが表示されます。

サマリペイン

サマリ ペインには、サイドバーで現在選択されているサーバーまたは仮想マシンの基本情報が表示されます。

サーバーが選択されている場合、サマリ ペインには次の 2 つのタブが用意されます。

- **[サマリ]** タブ: このタブをクリックすると、選択されているサーバーの一般設定、仮想マシンの一覧、およびこのサーバーで実行できる操作が表示されます。
- **[パフォーマンス]** タブ: このタブをクリックすると、選択されているサーバーによるホスト コンピュータ リソースの使用状況が表示されます。

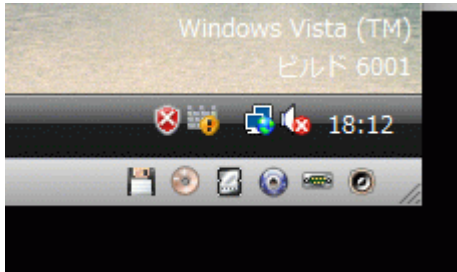
仮想マシンが選択されている場合、サマリ ペインには次の 3 つのタブが用意されます。

- **[サマリ]** タブ: このタブをクリックすると、選択されている仮想マシンの一般設定、仮想マシンの構成、およびこの仮想マシンで実行できる処理の一覧が表示されます。
- **[コンソール]** タブ: このタブをクリックすると、現在実行中の仮想マシンの画面が表示されます。 このタブは、仮想マシンが実行中の場合に使用できます。
- **[パフォーマンス]** タブ: このタブをクリックすると、選択されている仮想マシンによるホスト コンピュータ リソースの使用状況が表示されます。

注意: **[コンソール]** タブと **[パフォーマンス]** タブは、仮想マシンの実行中のみ使用できます。

ステータス バー

ステータス バーは、仮想マシンをスタートすると有効になります。[コンソール] タブをクリックするか、仮想マシンのコンソールを切り離しモードに切り替えると、ステータス バーに仮想マシンのアイコンが表示されます。ステータス バーのアイコンを使用すると、デバイスを簡単に接続または切断できます。デバイス アイコンを右クリックし、ショートカット メニューで目的のオプションを選択します。



第 5 章

Parallels Server への接続

Parallels Management Console を起動すると、コンピュータにインストールされている Parallels Server が検出された場合は、自動的に Parallels Server に接続されます。

コンピュータに Parallels Server がインストールされていない場合は、Parallels Management Console メイン ウィンドウに [ようこそ] ページが表示されます。サーバーに接続するには、**[Parallels Server に接続]** をクリックします。

- 1 **[サーバーの追加]** ダイアログ ボックスで、接続するサーバーとユーザー アカウント プロパティを指定する必要があります。

注意: Parallels Server に接続できるようにするには、目的の Parallels Server をホストするコンピュータのアカウントが必要です。

- **サーバー:** このフィールドには、目的のコンピュータの IP アドレスまたはネットワーク名を入力できます。接続するコンピュータは、**[詳細オプション]** 領域の **[サーバー一覧]** でも選択できます。

デフォルトで、Parallels Server はポート 64000 で接続を待機します。待機するポート番号がデフォルトと異なる場合は、サーバーの IP アドレスの直後にポート番号を入力します。たとえば、Parallels Server が接続にポート 64001 を使用する場合は、[サーバー] フィールドに「127.0.0.1:64001」と入力します。

- **ユーザー名:** このフィールドには、目的のサーバー用のユーザー ログインを入力します。
- **パスワード:** このフィールドには、目的のサーバーにアクセスするためのパスワードを入力します。

Parallels Management Console にユーザー名とパスワードを記憶させるには、[パスワードを保存する] オプションを選択します。このオプションを選択すると、目的のサーバーに接続するたびにユーザー アカウント プロパティを指定する必要がなくなります。

サーバー:

ユーザー名:

パスワード:

パスワードを保存する

▼ 詳細オプション...

サーバー一覧: 3 台のサーバーが見つかりました 🔍

OS	名前	アドレス
	172.16.100.1	172.16.100.1
	172.16.100.7	172.16.100.7
	localhost	127.0.0.1

接続セキュリティ:

データ圧縮を使用する

- 2 [詳細オプション] 領域を展開すると、現在のネットワーク上で使用できるサーバーの一覧の表示と追加設定の指定ができます。
- **サーバー一覧:** ネットワーク上に存在する、Parallels Server をホストするコンピュータの一覧です。コンピュータのネットワーク名、IP アドレス、およびインストールされているプライマリ OS の種類が表示されます。

注意: この一覧には、現在ネットワークで見つけることができ、ブロードキャストメッセージを受信できるサーバーが表示されます。

- **接続セキュリティ:** このフィールドでは、Parallels Management Console とリモート コンピュータにインストールされている Parallels Server との接続のセキュリティ レベルを選択します。このレベルは、[サーバー] > [設定の編集] を選択して [サーバー設定] ダイアログ ボックスにアクセスすることで、後から変更できます。
- **データ圧縮を使用する:** このオプションを選択すると、Parallels Management Console と Parallels Server との間で送信されるデータが圧縮されます。使用する接続が低速の場合は、このオプションを選択するとデータの転送速度が向上します。この設定は、[サーバー] > [設定の編集] を選択して [サーバー設定] ダイアログ ボックスにアクセスすることで、後から変更できます。

- 3 **[サーバーの追加]** をクリックすると、選択したサーバーが Parallels Management Console のメイン ウィンドウのサイドバーに表示されます。

Parallels Management Console を起動するときにデフォルトでこのサーバーに接続するには、**[サーバー]** > **[設定の編集]** メニューを選択し、**[サーバー設定]** ダイアログ ボックスで **[ログイン]** 設定を編集します。

第 6 章

Parallels Server のアクティベート

サーバーに初めて接続するときに、接続先 Parallels Server のアクティベートが要求されます。

アクティベートされていない Parallels Server は、仮想マシンの実行および仮想マシンへのオペレーティング システムのインストールに使用できません。ただし、アクティベートされていない Parallels Server でも、新しい仮想マシンの作成とその構成の編集はできます。

注意: Parallels Management Console はアクティベートする必要はありません。

製品をアクティベートするには

- 1 アクティベートされていないサーバーに接続したとき、またはアクティベートされていないサーバーの仮想マシンのいずれかをスタートしようとしたときは、アクティベーション ダイアログ ボックスが表示されます。
- 2 アクティベーション ダイアログ ボックスで、次のフィールドに入力します。
 - **サーバー:** アクティベートする Parallels Server をホストするコンピュータの名前を選択します。
 - **名前:** 名前を入力します (省略可)。
 - **組織:** 組織の名前を入力します (省略可)。
 - **プロダクト キー:** アクティベートする Parallels Server のプロダクト キーを入力します。

フィールドへの入力 completedしたら、**[OK]** をクリックします。

サーバー: localhost

名前:

組織:

プロダクト キー: (必須)

この Parallels Server はアクティベートされていません。
[プロダクト キー](#)を購入するか、[試用プロダクト キー](#)を入手してアクティベートしてください。

キャンセル OK

使用する Parallels Server がアクティベートされると、Parallels 仮想マシンとそのアプリケーションの全機能を使用できるようになります。

Parallels Server のアクティベートは 1 度だけです。接続する他のユーザーがこのサーバーをアクティベートし直す必要はありません。このサーバーにアクセスするすべてのユーザーが、このサーバーがホストする仮想マシンを実行できます。

第 7 章

標準的な仮想マシンの作成

サーバーに接続している場合は、新規仮想マシン アシスタントを使用して新しい仮想マシンを作成できます。仮想マシンは、次の 3 つのモードのいずれかを使用して作成できます。

- **Windows 高速:** このモードでは、Windows XP、Windows 2003、または Windows Vista 仮想マシンが作成され、その仮想マシンにゲスト オペレーティング システムがインストールされ、Parallels Tools 『p. 36』 のインストールが開始されます。
- **標準:** このモードでは、仮想マシンを標準構成で作成できます。
- **カスタム:** このモードでは、仮想マシンを作成しながら仮想マシン構成をカスタマイズできます。

このガイドでは、標準的な仮想マシンの作成手順について説明します。カスタム モードまたは Windows 高速モードで仮想マシンを作成する方法については、Parallels Management Console ヘルプ 『p. 10』または『Parallels 仮想マシン ガイド』 『p. 10』の「新しい仮想マシンの作成」を参照してください。

標準的な仮想マシンを作成するには

- 1 Parallels Management Console を起動します。
- 2 新しい仮想マシンをホストするサーバーを選択します。このサーバーに接続されていることを確認します。

注意: このサーバーに仮想マシンを作成するには、サーバーに接続されている必要があります。

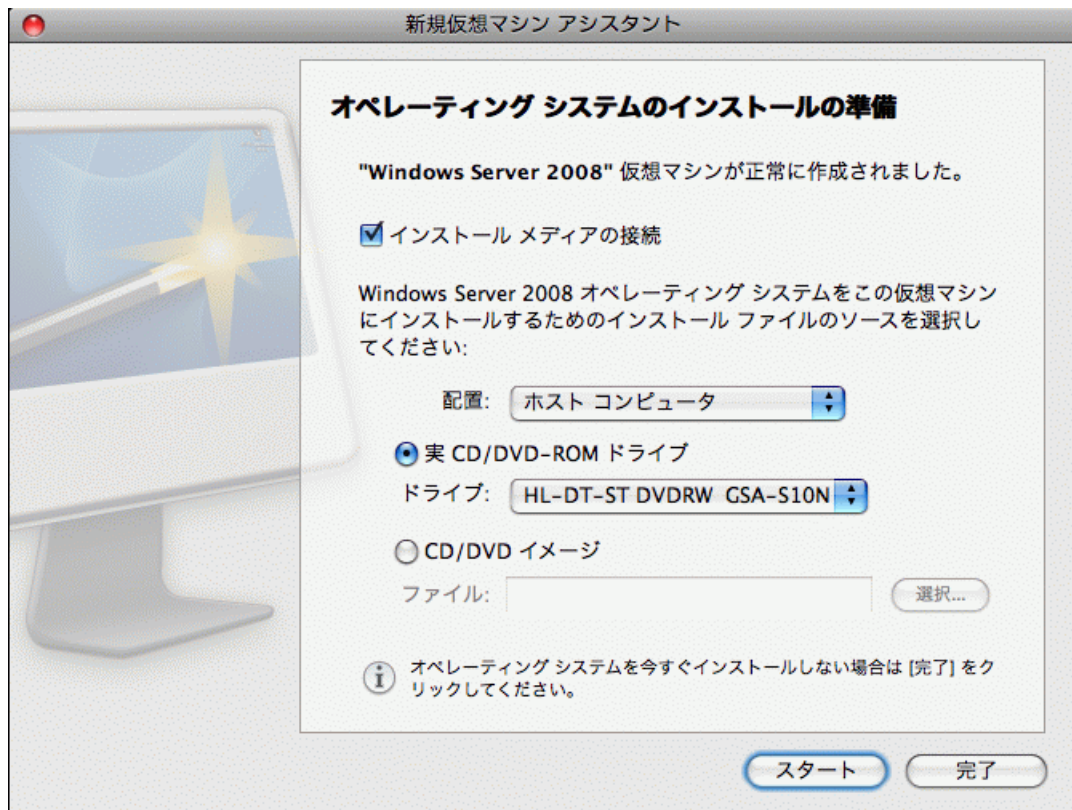
- 3 新規仮想マシン アシスタントは、次のいずれかの方法で開始します。
 - [ファイル] メニューの [新規仮想マシン] を選択する。
 - サーバーの [サマリ] タブの [新規仮想マシン] をクリックする。
 - サイドバーのサーバー アイコンを右クリックして、ショートカット メニューの [新規仮想マシン] を選択する。

- 4 新規仮想マシン アシスタントの **[イントロダクション]** ウィンドウで、**[続行]** をクリックします。
- 5 **[オペレーティング システムの種類とバージョンの選択]** ウィンドウで、この仮想マシンにインストールするオペレーティング システムを選択して、**[続行]** をクリックします。
- 6 **[仮想マシンの種類]** ウィンドウで、**[標準]** を選択して **[続行]** をクリックします。
- 7 **[名前と場所]** ウィンドウで、仮想マシンの名前を入力し、仮想マシンのファイルの格納先フォルダを指定します。**[選択]** ボタンを使用すると、フォルダを検索できます。デフォルトでは、仮想マシン ファイルは、次のフォルダに格納されます。
 - Mac OS ホストの場合: /Users/Shared/Parallels/<仮想マシン名>/
 - Windows ホストの場合:
C:\Documents and Settings\All Users\Documents\Parallels\<仮想マシン名>\
 - Windows Vista ホストの場合:
C:\Users\Public\Documents\Parallels\<仮想マシン名>\
 - Linux ホストの場合: /var/parallels/<仮想マシン名>準備が完了した後、**[作成]** をクリックします。
- 8 仮想マシンが作成されたら、**[オペレーティング システムのインストールの準備]** ウィンドウで、インストール ファイルのソースを指定します。

インストール ソースは、ホスト コンピュータおよびクライアント コンピュータの両方に置くことができます。**[配置]** の一覧からインストール ソースを選択します。使用できるインストール メディアの種類は、次のとおりです。

 - **実 CD/DVD-ROM ドライブ:** このオプションを選択すると、コンピュータの CD/DVD ドライブに挿入されたディスクが使用されます。使用するドライブを **[ドライブ]** の一覧から選択します。
 - **CD/DVD イメージ:** このオプションを選択すると、仮想マシンの CD/DVD ドライブに接続されている CD/DVD ディスク イメージが使用されます。**[ファイル]** フィールドにファイルへのパスを入力するか、**[選択]** ボタンを使用してファイルを探します。

注意: 後で新しい仮想マシンにオペレーティング システムをインストールする場合は、**[完了]** をクリックしてアシスタントを終了してください。



[スタート] をクリックすると、新しく作成した仮想マシンがスタートされ、ゲストオペレーティング システムのインストールが開始されます。

ゲスト オペレーティング システムをインストールすると、その OS に Parallels Tools をインストールできます。このツールにより、仮想マシンを操作しやすくなります。

第 8 章

Parallels Tools のインストール

Parallels Tools は、仮想マシンを最も快適で効率的な方法で使用できるようにする特別なユーティリティ群です。Parallels Tools を使用すると、キーを押さなくてもゲスト OS ウィンドウの外側にシームレスにマウスを移動したり、ウィンドウ サイズの変更によって仮想マシンの画面解像度を変更したりできます。また、仮想マシンの日時の設定をホスト コンピュータの時刻設定と同期したり、コンピュータのクリップボードを仮想マシンのクリップボードと共有できます。

Parallels Tools は、以下のゲスト オペレーティング システムで使用できます。

Windows

- Windows 2000
- Windows Server 2003
- Windows XP
- Windows Vista
- Windows Server 2008

Linux

以下の要件に準拠するゲスト Linux オペレーティング システム

- X.org 6.7 以降
- glibc2.4 以降

Mac OS X

- Mac OS X 10.5 Leopard Server

Parallels Tools のインストール

- 1 Parallels Management Console を起動します。
- 2 仮想マシンをスタートしてゲスト OS にログインします。
- 3 ゲスト OS が起動したら、次のいずれかの方法で Parallels Tools の ISO イメージ ファイルを接続します。
 - [仮想マシン] メニューの [Parallels Tools のインストール] を選択する。
 - 仮想マシン ウィンドウのステータス バーの CD/DVD-ROM ドライブ アイコンを右クリックして、イメージを接続する。

- 4 ウィザードの指示に従ってインストールを実行します。
- 5 仮想マシンを再起動してインストールを完了します。

Parallels Tools、および Parallels Tools のインストールや使用方法の詳細については、『*Parallels 仮想マシン ガイド*』の「Parallels ツールの使用」を参照してください。


第 9 章

仮想マシンの操作




このトピックでは、仮想マシンの制御方法について説明します。

仮想マシンのスタート、ストップ、および一時停止

以下のツールバー ボタンを使用して仮想マシンのスタート、ストップ、または一時停止を行います。

- 仮想マシンをストップするには、**[ストップ]** ボタン  をクリックします。このボタンは、仮想マシンの異常動作によりシャットダウンできなくなった場合に仮想マシンをストップするために使用します。

注意: 仮想マシンの実行中にこのボタンをクリックすると、保存されていないデータがすべて失われることがあります。仮想マシンの電源を切るには、仮想マシンにインストールされている ゲスト OS の指定のシャットダウン手順に従います。また、ツールバーに **[シャットダウン]** ボタンを追加することもできます。

- ストップされた仮想マシンをスタートするには、**[スタート]** ボタン  をクリックします。このボタンは、シャットダウン、一時停止、またはサスペンドされている仮想マシンをスタートする場合に使用します。
- 実行中の仮想マシンを一時停止するには、**[一時停止]** ボタン  をクリックします。このボタンは、この仮想マシンで使用されたホスト OS のリソースを、このホスト コンピュータ上で実行する別の仮想マシンやアプリケーションにすぐに解放する必要がある場合に使用します。仮想マシンをレジュームするには、**[続行]** ボタン  をクリックします。

注意: 一時停止された仮想マシンをストップすると、その仮想マシンで、一時停止された時点から作業を続行することはできません。仮想マシンをストップしてすべてのデータをそのマシンに保存するには、仮想マシンをサスペンドする必要があります。このためには、**[サスペンド]** ボタンを使用します。

ツールバー ボタンを使用して仮想マシンを管理する方法の詳細については、「インターフェイスの基礎 『p. 24』」を参照してください。

また、**[仮想マシン]** メニュー コントロールを使用して、仮想マシンのスタート、ストップ、一時停止、サスペンド、レジューム、リセット、またはシャットダウンを行うこともできます。

キーボードとマウスの使用

仮想マシンでマウスとキーボードの入力をキャプチャするには、ポインタをゲスト OS ウィンドウに移動して、ウィンドウ内をクリックします。

マウスとキーボードの入力をコンピュータ画面に開放するには、Control+Alt (Option) を押します。このデフォルトのホット キーの組み合わせでキーボードとマウスの入力を開放できます。このキーの組み合わせを変更するには、**[Management Console]** メニュー (Mac OS X の場合) または **[ファイル]** メニュー (Windows および Linux の場合) で表示される **[環境設定]** ダイアログ ボックスを使用します。

仮想マシンからコンピュータへのキーボードとマウスの入力の切り替えや、その逆の切り替えを容易に行えるようにするには、Parallels Tools をインストールします。Parallels Tools をインストールすると、仮想マシン ウィンドウとコンピュータ画面の間でポインタを移動するだけで、入力をシームレスに切り替えることができます。Parallels Tools の詳細については、「Parallels Tools のインストール 『p. 36』」を参照してください。

オブジェクトの右クリック

仮想マシンでオブジェクトを右クリックする場合のデフォルトのキーの組み合わせは、Shift+Ctrl+ クリックです。この組み合わせを変更するには、**[Management Console]** メニュー (Mac OS X の場合) または **[ファイル]** メニュー (Windows および Linux の場合) で表示される **[環境設定]** ダイアログ ボックスを使用します。

ビュー モードの切り替え

Parallels Management Console には、仮想マシンでさらに容易に効率よく作業するための表示モードがいくつか用意されています。


- **ウィンドウ表示:** このモードを使用すると、Parallels Management Console ウィンドウまたは切り離されたコンソール ウィンドウで仮想マシン画面を表示できます。
- **フル スクリーン:** このモードを使用すると、仮想マシン画面をコンピュータ画面のフル サイズで表示できます。
- **コンソールの切り離し表示:** このモードを使用すると、仮想マシン画面を別ウィンドウで表示できます。

こうしたモードを切り替えるには、メニュー コマンドまたはツールバー ボタンを使用できます。

フル スクリーン モードへの切り替え

ゲスト オペレーティング システムをフル スクリーンで実行できます。このとき、ゲスト OS ウィンドウがコンピュータの画面全体を占有し、Parallels Management Console のコントロールは隠されます。

フル スクリーン モードに切り替えるには

- ツールバーの **[フル スクリーン]** ボタン  をクリックする。
- **[表示]** メニューの **[フル スクリーン]** を選択する。


ウィンドウ表示モードに戻すには

- Alt+Enter キーを押す。これは、フル スクリーン モードに切り替えるためのデフォルトのキーの組み合わせです。


切り離されたコンソール モードへの切り替え

数多くの仮想マシンがある場合、それぞれを独自のウィンドウで実行するには、Parallels Management Console のメイン ウィンドウから各仮想マシン ウィンドウを切り離します。

仮想マシン ウィンドウを切り離すには

- ツールバーの **[コンソールの切り離し]** ボタン  をクリックする。
- **[表示]** メニューの **[コンソールの切り離し]** を選択する。

切り離された仮想マシン ウィンドウを接続するには

- 切り離されたウィンドウを閉じる。
- 切り離されたウィンドウのツールバーの **[コンソールの接続]** ボタン  をクリックする。

第 10 章

仮想マシン構成の編集

仮想マシン構成を変更する場合は、**[仮想マシン構成]** ダイアログ ボックスを使用して、仮想マシンへの新しいデバイスの追加や既存のデバイスの設定の編集を容易に行うことができます。このダイアログ ボックスは、仮想マシンの実行中でもストップ中でも使用できます。

[仮想マシン構成] ダイアログ ボックスを開くには



- **[仮想マシン]** メニューの **[構成の編集]** を選択する。
- メイン ウィンドウのサイドバーの仮想マシンをダブルクリックする。
- 仮想マシンの **[サマリ]** ページの **[構成の編集]** をクリックする。

仮想マシン オプションおよびデバイス設定を編集するには

- 1 **[仮想マシン構成]** ダイアログ ボックスで、設定を変更するオプションまたはデバイスを選択します。
- 2 デバイスまたはオプションの設定ペインで、デバイスの新しい設定を指定します。詳細設定を表示するには、ダイアログ ボックスの左下の **[詳細設定の表示]** オプションを選択します。
- 3 **[OK]** をクリックして変更を適用します。

注意: 仮想マシンを実行している場合は、その仮想マシンを再起動して構成変更を適用する必要があります。

デバイスの追加と削除

- デバイスを追加するには、**[仮想マシン構成]** ダイアログ ボックスを開き、ダイアログ ボックスの左下の **[追加]** ボタン  をクリックします。ハードウェア追加アシスタントの指示に従います。**[OK]** をクリックして変更を適用します。
- デバイスを削除するには、**[仮想マシン構成]** ダイアログ ボックスでデバイスを選択し、ダイアログ ボックスの左下の **[削除]** ボタン  をクリックします。**[OK]** をクリックして変更を適用します。

仮想マシンの構成方法の詳細については、『*Parallels 仮想マシン ガイド*』の「仮想マシンの構成」を参照してください。